

平成29年10月26日
 東日本高速道路株式会社
 関東支社

C4 首都圏中央連絡自動車道 阿見東IC料金所において、11月1日(水)から、

入口ETCレーン発進制御バーの開放運用の試行を開始します。

NEXCO東日本関東支社(埼玉県さいたま市)では、平成27年10月14日に国土交通省が発表した「圏央道でETCバーを開放する実験を開始します。～ストレスのない『賢い料金所』の導入～」を受け、昨年度は **C4** 首都圏中央連絡自動車道(以下「圏央道」)の茂原北ICにおいて、料金所入口ETCレーンの発進制御バー開放運用の試行を実施しておりましたが、今年度は圏央道の阿見東ICにおいて、料金所入口ETCレーンの発進制御バー開放運用の試行を行います。

1. 試行実施箇所及び実施期間

箇所: 圏央道 阿見東IC 入口ETCレーン

期間: 平成29年11月1日(水)9:00～12月20日(水)9:00

※出口 ETCレーンは、従来どおりの運用(発進制御バーの開閉)となります。

【対象IC】



【実験対象レーン】



【イメージ】

ETCレーン発進制御バー開閉(通常時)



ETCレーン発進制御バー開放(実験中)



【入口ETCレーンで、エラーが発生した場合の対応】

- ・後続車両等に十分注意をはらい、安全を確認の上、その場で停車できた場合は、レーンに設置されているインターフォンで係員に連絡し、係員の指示に従ってください。
- ・そのまま料金所を通過した場合は、出口料金所で、係員のいる「一般レーン」または「ETC／一般レーン（混在レーン）」に進み、係員に入口料金所のETCレーンでエラーとなった旨をお申し出ください。

【事故防止のお願い】

- ・料金所周辺での急な車線変更は、事故の原因となりますのでおやめください。
- ・ETCレーンでは時速 20km 以下に減速して進入し、徐行して通行をお願いします。

2. 参考

平成27年10月14日付け国土交通省記者発表

「圏央道でETCバーを開放する実験を開始します。～ストレスのない『賢い料金所』の導入～」
(http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000563.html)